

# KEYWARE TIMES

株主通信 Vol.8  
第45期 事業報告  
平成21年4月1日～平成22年3月31日

▶こんなところに、キーウェア

## 駅の広告は、 どんな風に管理してるの？

交通広告業務をトータルにサポートするパッケージソフトウェア  
「交通広告システム」をご紹介します。

▶特集

持続的に高い収益を上げられる企業体質へ



**KEYWARE**  
SOLUTIONS

キーウェアソリューションズ株式会社  
〒160-8422 東京都新宿区新宿三丁目1-13  
(京王新宿追分ビル8F) 経営企画室 IR部  
<http://www.keyware.co.jp>



本誌は、米国大豆協会認定の大豆油インキを使用しています。  
※掲載されている会社名と製品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

**KEYWARE**  
SOLUTIONS

キーウェアソリューションズ株式会社  
東証第二部 3799

IT can create it.



こんなところに、キーウェア

# 駅の広告は、どんな風に管理してるの？

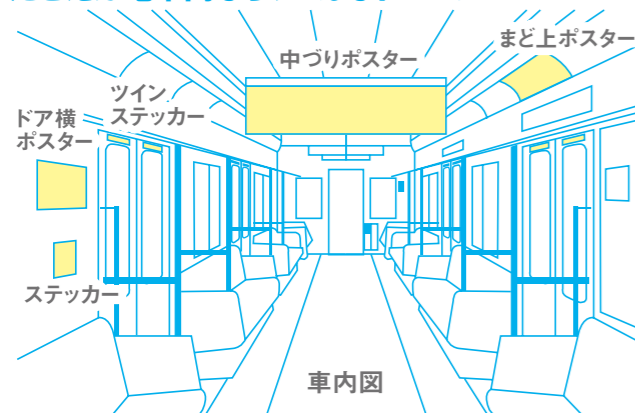
日本では、都市部での通勤・通学時の移動手段に鉄道やバスなどの公共交通を大勢の方が利用されています。車両や駅構内のいわゆる「交通広告」を、皆さまも移動中にご覧になるのではないのでしょうか？

「交通広告」は、多くの方が反復して目にするため、記憶への刷り込み効果が高いばかりか、テレビや新聞などの媒体と比べて視覚的効果と行動喚起効果が高いことから企業間で注目を集めています。その一方で、それらの広告を扱う大手広告代理店などでは「広告掲出件数が多い！煩雑で負担のかかる作業を改善したい！」といった媒体特有の悩みを抱えており、専門部署の設置や関連会社を設立するなど対応に追われているのが現状です。

そのような中、キーウェアでは、大手の広告代理店や販売管理会社向けに消費者の多様なニーズに対応する「交通広告システム」の販売を行っています。

たとえば、小田急線は、東京・神奈川に全70駅、1日平均196万人が乗降するスケールの大きな路線。当

## たとえば電車内なら、こんなところに！

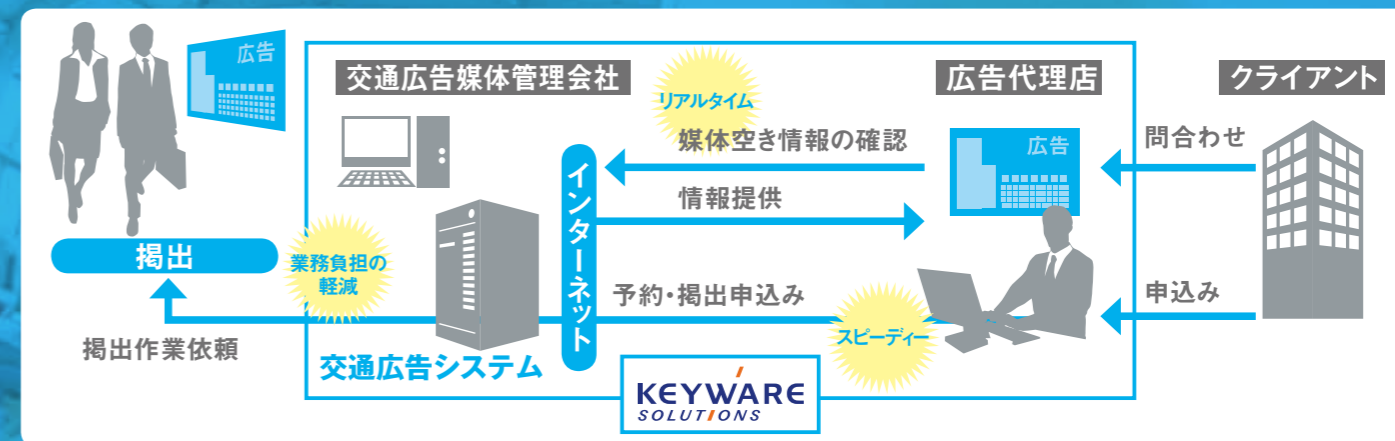


社のシステムをご導入いただいている小田急エージェンシー様では、これまで時間と労力を要していた電話やFAXによる問い合わせを不要にし、リアルタイムで具体的な情報確認とスピーディーな予約申込みを可能にしました。これにより、同社の作業効率化や広告媒体稼働率の向上、また、煩雑な業務の負担を軽減し、管理コストの削減を実現されています。

「このポスターの商品、美味しそう〜！」

「あの場所に行ってみたいな。」

皆さまの生活に潤いを与える大切な情報の一つ「交通広告」の裏側で、キーウェアも活躍しています。これからも積極的にシステムのご紹介を行い、豊かな社会の実現に努めてまいります。



株主の皆さまにおかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

今回より、皆さまにできるだけわかりやすく当社グループの活動をご報告し、親しみをもっていただけるように構成を一部見直し、冊子のタイトルを「KEYWARE TIMES」としてお届けすることといたしました。



代表取締役社長 中島 哲二

平成22年3月期につきましては、景気二番底の懸念は薄らいだものの、景気回復までには至っておりません。情報サービス産業におきましては、企業の投資抑制傾向が継続しており、厳しい状況となりました。

このような中、当社グループは、組織改編による業務効率化や人件費等の固定費のさらなる削減によりコスト削減に努めましたが、売上の減少をカバーするには至りませんでした。その結果、当初の業績予想を下回る結果となり、また、期末配当を見送らせていただくこととなりました。皆さまにはご心配をおかけし、誠に申し訳なく思っております。

今期におきましても依然厳しい状況は予想されますが、ユーザ企業は勝ち残りのための社内業務の効率化、合理化、社内インフラの整備から経営戦略実現のためのITを駆使した経営を求めており、受注拡大の機会が生まれる可能性が大きくなっております。当社グループといたしましては、情報システムのライフサイクル全般をカバーできる高度なノウハウを駆使することにより既存のお客様との連携を強化するとともに、クラウドなどの新たなサービスを提供することで利益確保に向けて邁進してまいります。

皆さまには、引き続きのご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## 平成22年3月期の業績について

自治体や企業のIT投資抑制により、大型案件が減少したことに加え、一部開発案件の延期、契約締結までの期間の長期化ならびに顧客企業の内製化による稼働率低下や受注単価低下などが発生しました。また、損益悪化プロジェクトの影響を払拭できず、当社の受

注機会損失を招きました。このような状況のもと、当社グループの当連結会計年度における受注高は16,482百万円、売上高は17,197百万円となり、546百万円の営業損失計上となりました。

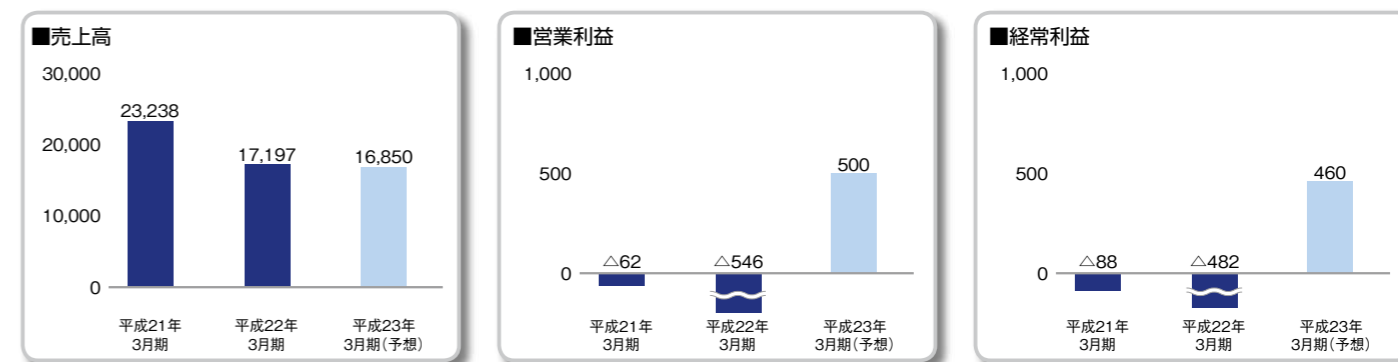
## 今期の見通しについて

今期につきましては、ユーザ企業からの発注量は依然厳しい状況が予想されますが、当社は、引き続きグループ各社においてプロジェクト採算管理の徹底や生産性の向上による業務効率化や固定費ならびに販管費の圧縮などを通じ収益体質を強化してまいります。

当社が得意とする業種分野（官公庁、通信、金融、放送、運輸など）での「システム開発」、また、自社パッケージを有する医療、知的財産といった分野への注力

を進めるほか、当社の強みとするERPやグループウェア関連のノウハウをコンサルティングに組み込んでお客様に提供していく「総合サービス」は、堅調に推移するものと見込んでおります。さらに、ERPやアウトソーシングサービスの経験やノウハウと、ITインフラ関連技術およびサーバ・データベース設計構築技術を融合し、クラウド基盤構築やERPにおけるIFRS対応の展開をはかってまいります。

### ■連結業績ハイライト（単位：百万円、単位未満切り捨て）



# 持続的に高い収益を上げられる

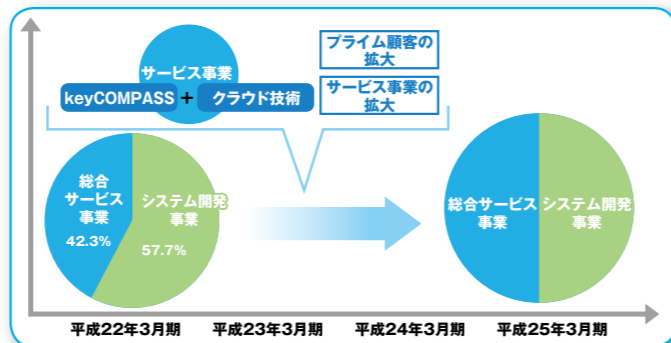
## 中長期の成長戦略

ビジネスモデルkeyCOMPASS (キーコンパス)\*によるお客様との関係強化とクラウド関連人材の育成と技術シフトを行い、顧客数増加とサービス事業の拡大をはかってまいります。



今後、システム開発の市場全体の縮小傾向が続くことが予想される一方で、クラウド・仮想化などの新技術の普及やIT投資促進要因の存在による当業界の潜在的成長性は高いものと思われます。このような事業環境の変化に対応すべく技術シフトを行い、収益力の向上と効率化を追求することにより、企業価値を高めてまいります。

\*keyCOMPASS (キーコンパス) は、経営およびシステムのコンサルテーションから始まり、構築・導入・運用といった一連のシステムのライフサイクル全般にわたり、各フェーズに最適なサービスを提供しております。



# 企業体質へ



## 今期の経営戦略

昭和40年の創立以来、社会インフラ（生活や経済活動を支える基盤）に近い部分のシステム構築に携わり、多くのお客様から高い信頼を頂き、おかげさまで45周年を迎えました。

当社はさらなる飛躍を目指すため、事業構造改革を実行し、持続的に高い収益を上げられる企業体質への転換の足がかりとして、今期は以下の経営戦略を実行してまいります。

POINT  
1

### 前期損失要因であるプロジェクト管理を徹底

新技術の修得によるさらなる生産性・品質の向上と、プロジェクト管理室によるプロジェクトの監視を強化してまいります。

POINT  
2

### 人員の合理化を行い、収益性の向上をはかる

「ニューキャリアチャレンジ制度」\*を活用した人員の合理化を行い、固定費のさらなる削減を中心としたコスト圧縮を実施することで、厳しい事業環境における収益基盤の安定化と収益性の向上をはかります。

\*ニューキャリアチャレンジ制度とは、社員自らが、新しい役割にチャレンジすることを支援し、人材の有効活用と活性化を目的とした制度です。今回の制度活用、実施にかかる費用は、平成22年3月期に特別損失として計上しており、今期業績への影響はございません。

POINT  
3

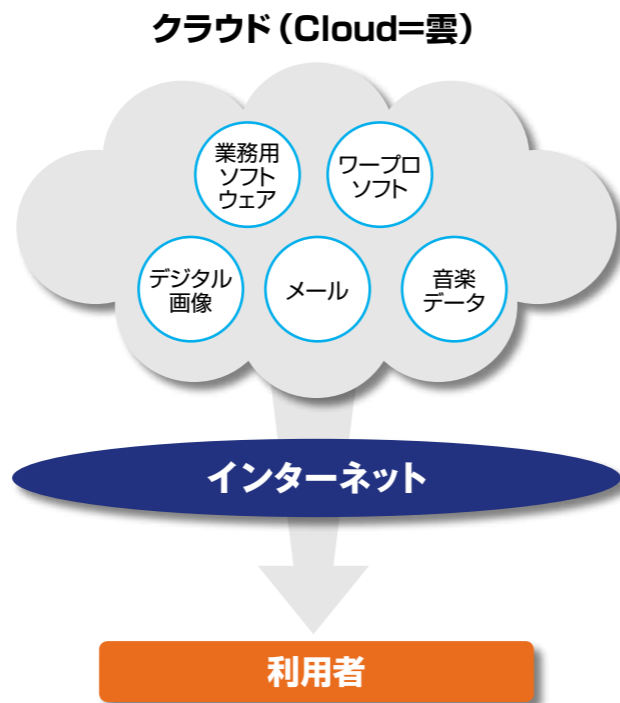
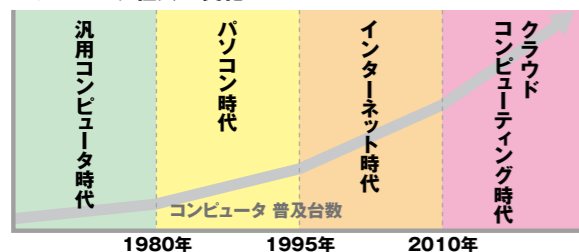
### 総合サービス事業を強化

ビジネスモデルkeyCOMPASSによるお客様との関係強化およびクラウド関連人材の育成と技術シフトを行い、顧客数増加とサービス事業の拡大をはかってまいります。

# 「クラウド コンピューティング」とは？

クラウドコンピューティングとは、インターネット経由でさまざまなソフトウェアやサービスを利用する仕組みの総称です。インターネットを図示する際に、雲の絵で表現することから、このように呼ばれています。これまで利用者が自分自身で保有・管理していたハードウェアやソフトウェアなどを持たなくても、インターネット経由でさまざまなサービスを利用できるようになり、その可用性、拡張性の高さから個人からビジネスまで幅広く普及が始まっています。

コンピュータ社会の変化



## たとえば 人気のスマートフォン

個人向けの端末を便利に

ネットワークにいつもつながっており、スケジュールやアドレス帳、メールなどの情報をインターネット上に保存でき、パソコンや他の端末と同じように最新の情報を常に利用できます。

## たとえば ITシステム

企業・団体にさまざまなメリットを提供

### ユーザ企業のコスト負担軽減

ユーザ企業においては、コンピュータシステムを自社で保有する必要がなくなるため、システムの維持、運用コストを低減することができます。

### 開発期間の短縮

既に用意されている各種ソフトウェアを組み合わせて、必要なシステムの開発が可能となり、開発までの期間を大幅に短縮できます。また、ソフトウェアの契約数の拡大・縮小も容易に行えます。

### 利用効率化

多数のサーバを利用して処理していた従来の情報システムに比べて、空いているサーバに自動的に業務を振り分けるなどしてデータを蓄積するサーバ類を集約させ、利用効率化がはかれます。

# トピックス

## 総合サービス事業の強化に向けての成果

### 独立行政法人向け ネットワークシステム更改を落札

事業部、グループ会社間の垣根を越え、得意分野を担当することにより、シームレスな体制を構築し、大規模な案件を受注いたしました。

### 次世代ビジネスプラットフォーム 「Biz」(ビズインテグラル)の提供開始

(株)NTTデータビズインテグラル、(株)NTTデータイントラマートと次世代ビジネスプラットフォーム「Biz」(ビズインテグラル)のパートナー契約を締結いたしました。

### 共同利用型のテレワーク基盤を行政へ導入

当社のハイブリッドシンクライアントソリューションをもとに、埼玉県入間郡毛呂山町にて、行政・民間を問わず共同で利用可能な共同利用型のテレワーク基盤を導入いただきました。

独自設備の整備が困難な企業・団体においても、専用のシンクライアント端末が要らず、既存の端末でアプリケーションを利用でき、これにより、育児をしながらテレワーク環境で仕事をすることもでき、ICT(情報通信技術)を活用した新しいサービスとして行政から注目を集めています。当社では、本導入を足がかりに他の行政への営業展開を強化してまいります。

### 出展予定

**第1回教育ITソリューションEXPO**  
平成22年7月8日(木)～10日(土)  
東京ビッグサイト

ハイブリッドシンクライアントソリューションにより「共同利用型のテレワーク基盤」を構築し、親子がふれあい学べる環境と基礎教育コンテンツを公開している毛呂山町様の導入事例をご紹介します。

## ITを活かした企業経営への マーケティング活動

### 展示会&イベント

当社では、より多くのお客様に新製品や新技術を知っていただくために、イベントや展示会への出展、定期的なセミナー開催などを積極的に行っております。

#### 最近の展示会&イベントの一例

- J-SOX時代における証跡ログとBlu-Rayアーカイブの可能性
- 2009特許・情報フェア&コンファレンス
- Lotus Notes環境を「さくさく」動かすテクニックご紹介セミナー
- 新PATAS説明会～新しくなったPATASのご紹介&活用事例～

## 時代の求める 新商品・新サービスの提供

### 「Hybrid ThinClient Mobile Access Key (ハイブリッドシンクライアント モバイルアクセスキー)」 の販売を開始

ハイブリッドシンクライアントと組み合わせることにより、既存のパソコンにUSBキーを挿すだけで社内のシンクライアント環境へセキュアにアクセスできるようになり、どこからでも業務環境の利用が可能となります。



※シンクライアント 企業の情報システムにおいて、社員が使うコンピュータ(クライアント)に最低限の機能しか持たせず、サーバ側でアプリケーションソフトやファイルなどの資源を管理するシステムの総称。  
※プラットフォーム アプリケーションソフトを動作させる際の基盤となるOSの種類や環境、設定など。

**A 流動資産**

現金及び預金の減少、売上高減少に伴う売掛金の減少、および仕掛品の減少により、対前年比1,836百万円減少の4,549百万円となりました。

**B 流動負債**

買掛金の減少、および1年内返済予定の長期借入金の約定弁済による減少等により対前年比517百万円減少の1,730百万円となりました。

**C 純資産**

配当金支払、および当期純損失の計上により、対前年比976百万円減少の6,636百万円となりました。

**■連結貸借対照表**

	前 期 平成21年3月31日現在	当 期 平成22年3月31日現在
<b>(資産の部)</b>		
<b>A</b> 流動資産	6,386	4,549
固定資産	4,688	4,740
有形固定資産	249	210
無形固定資産	1,366	1,336
投資その他の資産	3,072	3,193
資産合計	11,075	9,290
<b>(負債の部)</b>		
<b>B</b> 流動負債	2,248	1,730
固定負債	1,214	924
負債合計	3,462	2,654
<b>(純資産の部)</b>		
株主資本	7,620	6,629
評価・換算差額等	△8	7
<b>C</b> 純資産合計	7,612	6,636
負債純資産合計	11,075	9,290

**■連結損益計算書**

	前 期 平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで	当 期 平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで
売上高	23,238	17,197
売上原価	19,510	14,663
<b>D</b> 売上総利益	3,728	2,534
<b>E</b> 販売費及び一般管理費	3,791	3,080
営業損失(△)	△62	△546
経常損失(△)	△88	△482
<b>F</b> 当期純損失(△)	△404	△854

**■連結キャッシュ・フロー計算書**

	前 期 平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで	当 期 平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで
<b>G</b> 営業活動による キャッシュ・フロー	1,985	446
投資活動による キャッシュ・フロー	△539	△324
財務活動による キャッシュ・フロー	△793	△681
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	653	△559
現金及び現金同等物の 期首残高	1,009	1,662
現金及び現金同等物の 期末残高	1,662	1,103

**D 売上総利益**

管理職の給与削減、および経費計画の見直しにより原価圧縮に努めましたが、一部損益悪化プロジェクトの影響、および受注高の減少による未稼働工数の増加などにより売上総利益が減少いたしました。

**E 販売費及び一般管理費**

役員、管理職の給与削減、および経費計画の見直しに努め、対前年比710百万円減少と大幅に圧縮いたしました。

**F 当期純損失**

ニューキャリアチャレンジ制度による人員削減の実施に伴い事業構造改善費用を計上したことにより当期純損失が854百万円となりました。

※ニューキャリアチャレンジ制度とは、社員自らが、新しい役割にチャレンジすることを支援し、人材の有効活用と活性化を目的とした制度です。

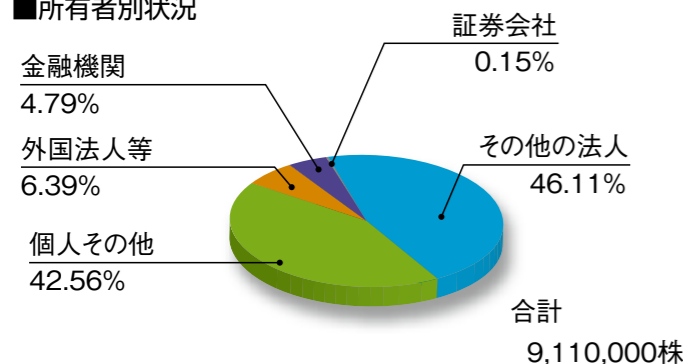
**G 営業活動による  
キャッシュ・フロー**

売掛金の回収、およびたな卸資産の減少がありました。税金等調整前当期純損失の増加、仕入債務の減少などにより、対前年比1,539百万円減少の446百万円となりました。

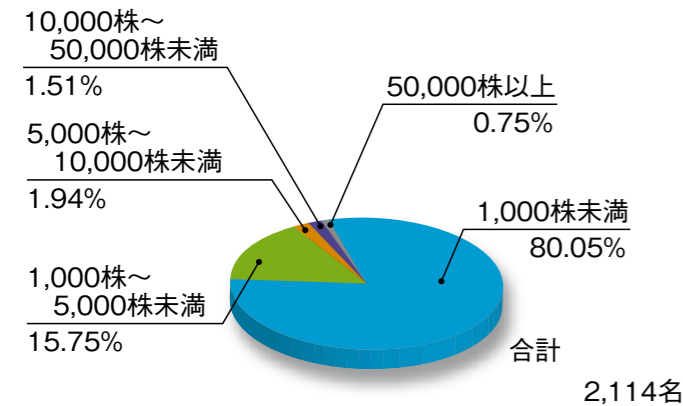
発行可能株式総数 36,440,000株  
 発行済株式総数 9,110,000株  
 株主数 2,114名

大株主	所有株式数	持株比率(%)
日本電気株式会社	3,190,000	35.02
キーウェアソリューションズ従業員持株会	940,400	10.32
岡田 昌之	607,500	6.67

■所有者別状況



■所有株数別状況



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
 定時株主総会 毎年6月開催  
 基準日 定時株主総会 毎年3月31日  
 期末配当金 毎年3月31日  
 中間配当金 毎年9月30日  
 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

株主名簿管理人 および特別口座の口座管理機関 大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人 事務取扱場所 東京都中央区八重洲二丁目3番1号 住友信託銀行株式会社 証券代行部

【郵便物送付先】 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部  
 【電話照会先】 (フリーダイヤル)0120-176-417

【インターネットホームページ URL】 <http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>

公告掲載新聞 日本経済新聞  
 上場証券取引所 東京証券取引所市場第二部

株式に関する手続き

- ・特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、株主名簿管理人である住友信託銀行(上記の電話照会先)へお願いいたします。
- ・配当金の口座振込のご指定につきましては、お取引の口座管理機関(証券会社)にてお手続きいただくことになりました。株式数比例配分方式を選択された場合の配当金のお振込先につきましても、お取引の口座管理機関(証券会社)へお問い合わせください。
- ・期間経過後の配当金のお支払いにつきましては、株主名簿管理人である住友信託銀行にお申出ください。
- ・租税特別措置法の平成20年改正(平成20年4月30日法律第23号)により、平成21年1月以降に当社がお支払いする配当金について、配当金額や徴収税額などを記載した「支払通知書」を株主様宛にお送りしております(同封の「配当金計算書」が、「支払通知書」を兼ねることになります)。お受取りになられた「支払通知書」は、配当金額のご確認や確定申告の資料としてご利用いただけます。

商号 キーウェアソリューションズ株式会社  
 住所 〒160-8422 東京都新宿区新宿三丁目1-13 (京王新宿追分ビル8F)

代表者 代表取締役会長 八反田 博  
 代表取締役社長 中島 哲二

創立 昭和40年5月

資本金 17億37百万円

売上 171億97百万円(平成22年3月期・連結)

従業員数 1,334名(平成22年3月31日現在・連結)

主要法人株主 日本電気株式会社  
 株式会社ジェイアール東日本情報システム  
 日本ヒューレット・パカード株式会社  
 株式会社三井住友銀行  
 住友生命保険相互会社

取得資格 経済産業省・システムインテグレータ登録制度  
 経済産業省・特定システムオペレーション企業等認定制度  
 品質マネジメントシステム登録事業者  
 プライバシーマーク使用許諾事業者  
 情報セキュリティマネジメントシステム登録事業者  
 環境マネジメントシステム登録事業者  
 CMMIアプライザル(運輸事業部レベル3)



本社(賃貸)



八幡山事業所(賃貸)

役員

代表取締役会長	八反田 博	はつたんだ ひろし
代表取締役社長	中島 哲二	なかしま てつじ
取締役	矢光 重敏	やこう しげとし
	村上 優	むらかみ まさる
	三田 昌弘	みた まさひろ
	島田 孝雄	しまだ たかお
	東野 正	ひがしの ただし
監査役	木本 誠	きもと まこと
	山田 和男	やまだ かずお
	岡西 祥太郎	おかにし しょうたろう
	瀧田 博	たきた ひろし

※取締役 東野 正は、会社法第2条第15号に定める社外取締役です。

※監査役 岡西 祥太郎および瀧田 博は、会社法第2条第16号に定める社外監査役です。

※監査役 瀧田 博は、東京証券取引所が指定を義務付ける一般株主と利益相反が生じるおそれのない独立役員です。

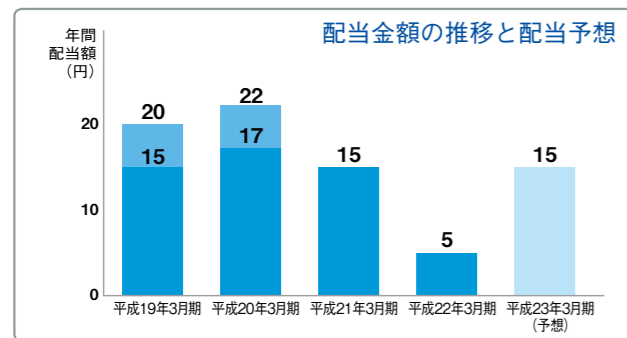
# キーウェアの扉

皆さまとの  
コミュニケーション  
ページ



## 株主還元について

安定的な配当を実施するとともに、積極的な株主還元をはかります。

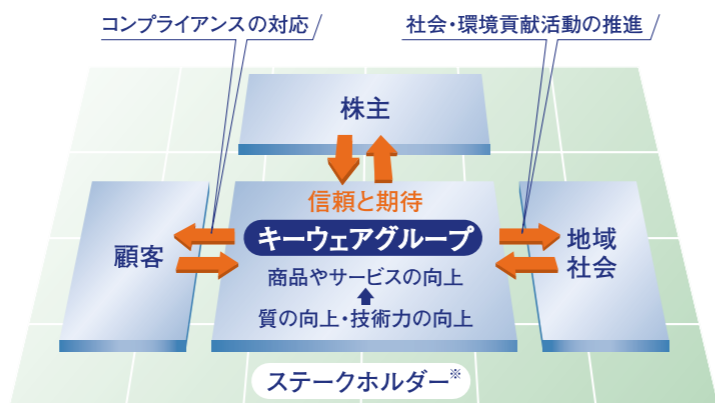


※平成19年3月期は普通配当とJASDAQ上場記念配当を含む金額を掲載  
平成20年3月期は普通配当と東証2部上場記念配当を含む金額を掲載

## 社会・環境活動 (CSR) への取り組み

キーウェアグループでは、社会・環境貢献活動への取り組みを企業の重要な社会的責任と認識しております。地域社会の皆さまと友好的なコミュニケーションを取りながら、豊かな社会と環境の実現に努めてまいります。

### ■キーウェアグループの社会的な位置づけ



※ステークホルダー:企業が事業活動を行う際、配慮すべき関係者の総称。

## 日本経済新聞社 「環境経営度調査」で高評価を獲得

平成21年12月、日本経済新聞社第13回「環境経営度調査」の結果が発表され、当社が非製造業の「通信・サービス」部門で17位に選ばれました(同部門におけるソフトウェア会社では5位)。

本調査は、各企業による調査票への回答から、環境経営への取り組みが優れている企業のランキングを発表するもので、日本経済新聞社が平成9年から毎年1回実施している調査です。

## インターネットIR情報

<http://www.keyware.co.jp/ir/index.html>

本年4月に、ホームページを一部リニューアルしました。  
今後も皆さまのニーズにお応えするホームページを目指してまいります。

### ●IRページ



#### 1「IRライブラリ」

- 各レポートのPDFがダウンロードできます。
- 本報告書の過去データも参照いただけます。

#### 2「決算説明(動画配信)」

- 決算説明の動画を配信しております。



#### 3「会社案内(動画配信)」

- 会社案内の動画を配信しております。



<http://www.keyware.co.jp/csr/index.html>



新たに社会・環境活動(CSR)ページを公開いたしました。

### 知って得する!

## IT時代の活用術 4 正しいキーボード位置で、疲労を軽減

長時間のパソコン作業は、眼精疲労や肩こりにつながります。ディスプレイの見過ぎだけではなく、キーボードやマウスを操作するときの姿勢や操作法もその原因の一つです。

たとえば、キーボードを置く位置は、指のホームポジションを基準に考えて、「G」と「H」のキーの間をディスプレイの中心と同じ位置にすることで、体の不自然なねじれを解消します。キーボードの位置を変えるだけで体の負荷を減らし、作業の効率アップにもつながると思いますのでお試しください。

